

(7) 北 陸



北陸地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は高水準で推移しているものの、一服感がみられる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いている。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

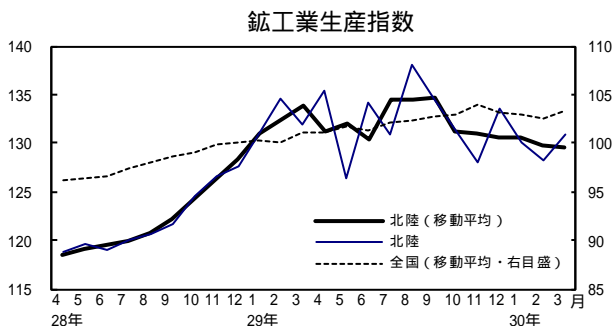
前回からの主要変更点

	前回(平成30年2月)	今回(平成30年5月)	
住宅建設	減少	大幅に減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は高水準で推移しているものの、一服感がみられる。

1 - 3月期には、電子部品・デバイスは、自動車向け電子部品は好調だったものの、スマートフォン向けの一部に弱い動きがあり、減少した。化学は、医薬品が増加した。はん用・生産用・業務用機械は、金属加工機械等が増加した。繊維は、染色整理等が大雪の影響を受け、減少した。金属製品は、建築用金属製品等が伸び悩み、減少した。



(備考) 1. 22年=100、季節調整値。北陸の最新月は速報値。
2. 全国及び北陸の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

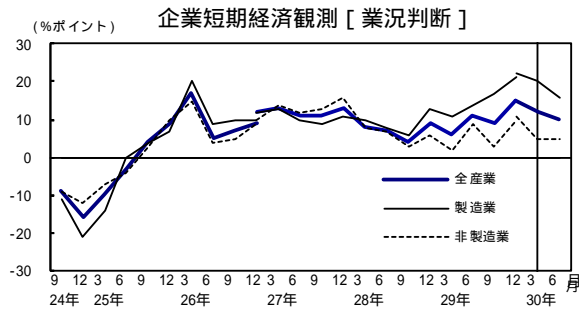
	付加価値 ウェイト	生産				
		10 - 12 月期	1 - 3 月期	1月	2月	3月
電子部品・デバイス	20.8	8.1	1.4	2.7	4.3	0.3
化学	13.5	1.2	1.0	0.1	2.7	0.9
はん用・生産用・業務用機械	12.7	0.5	1.0	2.6	0.1	0.9
繊維	8.4	0.8	2.6	2.0	6.7	9.7
金属製品	6.0	1.4	6.7	15.8	9.9	3.8
鉱工業	100.0	2.6	0.9	2.5	1.4	2.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
2. 1 - 3月期、3月は速報値。

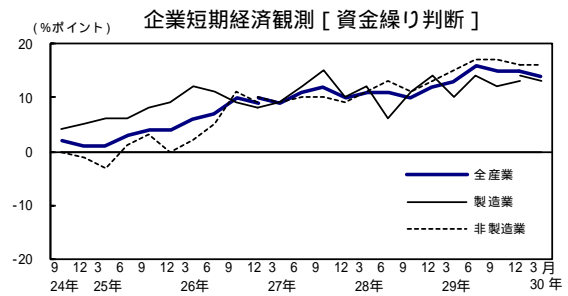
(7) 北陸

(2) 日銀短観における業況判断は「良い」超幅が縮小し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

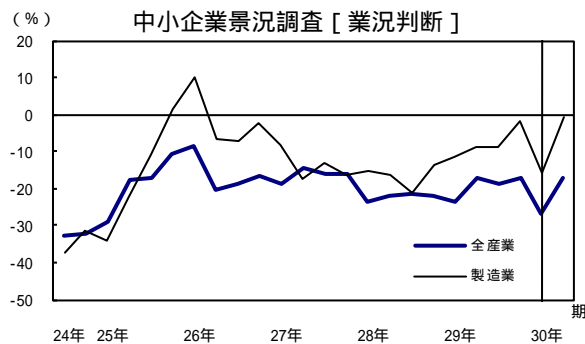
企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。30年6月は予測
26年12月及び29年12月は新・旧基準を併記。



(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月及び29年12月は新・旧基準を併記。

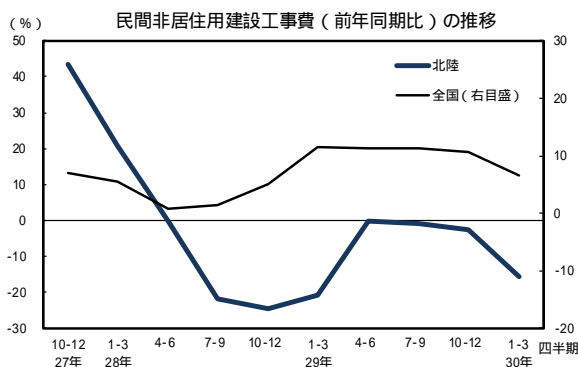


(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。30年 期は見通し。

景気ウォッチャー調査(4月調査結果)[企業動向関連(現状)]

「輸出が引き続き好調であり、全体の販売量をリードしている。一方で、好調が続いていた国内コンビニ向けの受注が鈍化している(食料品製造業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は前年に比べて大幅に減少している。



(備考)29年4-6月期以降は国土交通省「建築統計月報」の非居住用建築物工事費予定額を平均工期9.8か月で進捗展開し、その伸び率を基に実績額を延伸。

企業短期経済観測調査 [設備投資(3月調査)]
(前年度比、%)

	29年度実績見込み	30年度見極
全産業	13.7(1.0)	14.8
製造業	27.1(1.2)	21.9
非製造業	3.1(0.8)	3.2

(備考)()は前回(12月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いている。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

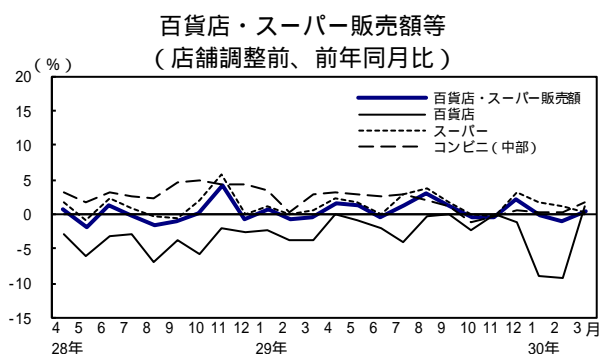
1月は前月比1.5%減、2月は同0.2%減、3月は同0.5%増となった。

百貨店・スーパー販売額

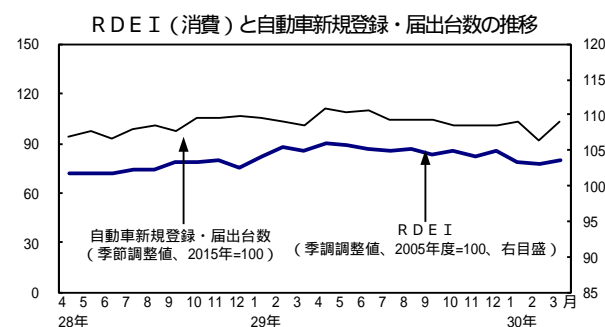
百貨店・スーパーは、1月は、飲食料品には好調な動きがみられるものの、大雪の影響により客数が減少したことなどから、前年を下回った。2月は、飲食料品には引き続き好調な動きがみられるものの、大雪の影響により客数が大幅に減少したことなどから、前年を下回った。3月は、飲食料品が好調に推移していることに加え、百貨店には高額品などに好調な動きがみられたことなどから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

「高価格帯の商品でも、価値があれば客は購入しているようである。ただし、競合他社とセール品を買い回っている様子は変わらない。時間を費やしてでも安い商品を探しているようであり、強く回復に向かっているとはいえない(スーパー)」など「変わらない」とする回答が増加した。



	30年1-3月	30年1月	2月	3月
RDEI (消費*1)	1.3	1.5	0.2	0.5
百貨店・スーパー(*2)	0.2	0.2	0.9	0.5
百貨店(*2)	5.4	8.8	9.3	1.3
スーパー(*2)	1.1	1.8	1.2	0.3
コンビニ(*2)	0.8	0.4	0.3	1.7
乗用車(*3)	3.7	0.8	11.2	0.4
(季節調整値)(*3)	1.5	1.7	10.8	12.1



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比 (%)

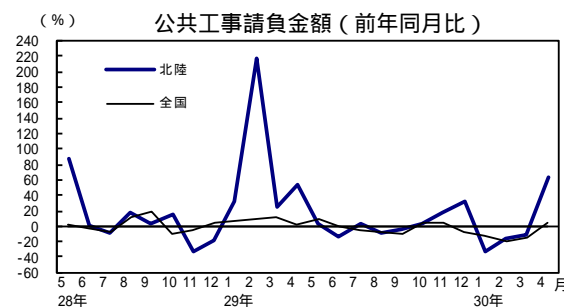
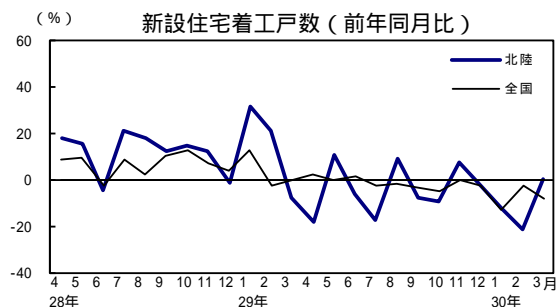
コンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

3. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

(2) 住宅建設は前年に比べて大幅に減少している。

貸家が前年を下回ったことから、全体では大幅に減少している

(3) 公共投資は29年度累計でみると前年度とほぼ同水準となっている。

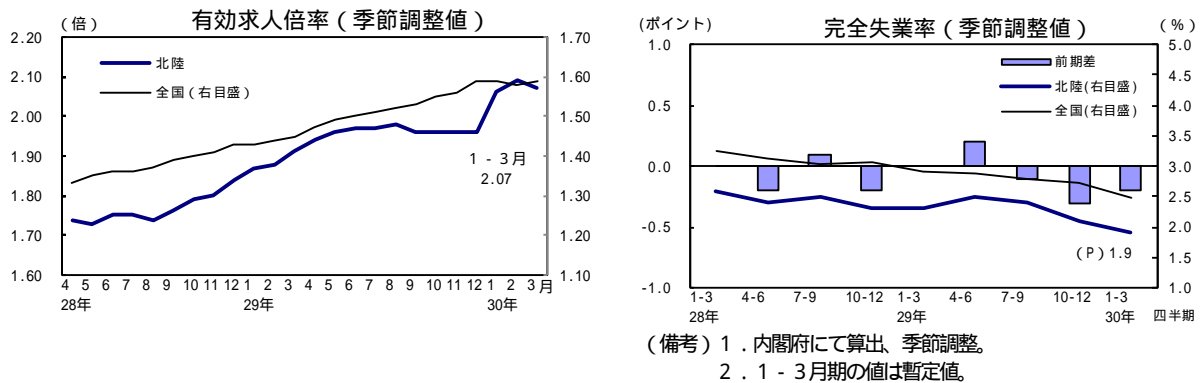


(7) 北陸

3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率
有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (4月調査結果) [雇用関連 (現状)]
「求人のために訪れる企業数は、4月に入って前年並みに落ち着いてきたものの、これまでの求人企業数は前年をやや上回っている (学校 [大学])」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は前年に比べて件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は前年比の上昇幅が拡大している。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	29年4 - 6月	7 - 9月	10 - 12月	30年1 - 3月	30年4月
倒産件数 (前年比)	43 31.7	44 4.3	44 4.8	47 13.0	8 46.7
負債総額 (前年比)	39 11.3	65 7.5	46 8.6	47 66.5	5 40.7

